



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所 スタッフ一同

ベアレンの初めて

代表取締役社長 岩田 洋一

今、当社では企業型D（企業型確定拠出年金）の導入を進めています。若いスタッフが多いと言われるベアレンですが、私も含めて当然ながらみんな歳を取りますので、40代以上のスタッフも増えてきました。将来のこと、資産形成のことを考えてもらうきっかけにしてほしい、そんな思いで導入を決定しました。これを支援している会社に聞きましたが、岩手県では中小企業の企業型Dの導入事例は大変少ないとのこと。私には意外でした。たしかに、手続きは煩雑ですし、担当スタッフにとっては業務が増えて大変なことと思いますが、費用面ではそれほどかかることもなく、スタッフのメリットを考えると十分に導入に実があると思っています。

こういった事例は当社に多くあります。置き型社食「おかん便」というサービスを導入していますが、当社が岩手県内初導入と聞いています。ベアレン醸造所の

ある場所は、周辺にコンビニや食事をできるところがありません。多くのスタッフがお弁当を持参しているのですが、カップラーメンで済ませてしまう人も少なくありません。このお弁当はどれでも1つ100円で様々な種類のおかずが用意されており、スタッフのバランスよい食事に一役を担っていると思っています。また、ユニボスというシステムも岩手県で当社が初導入だと思っています。これは、「ありがとう」などの感謝や「すごいね」といった称賛をスタッフ同士で送りあえるアプリです。そこに会社が支給するポイントをつけることができ、第3のボーナスとも言われています。職場の心理的安全性の確保には感謝を伝え合うことは大事なことです。が、なかなか面と向かって言いにくいもの。このシステムではこれをアプリ上で簡単にでき



「Uniposベストカルチャー変革賞」受賞



種類豊富なおかん便のラインアップ

BAEREN

ベアレンニュース2026年2月号 No.244

編集：総務部

岩手県盛岡市北山1丁目3-31

ベアレン醸造所 〒020-0061

リレーエッセイ
菅原 聡子 | 総務部



洋子さん、バトンア
リがとうございます。
エッセイ内では触れら
れていませんでしたが、
全国各地へ向うフルマラ
ソンを走るお方なのです。私
など足元にも及びませんが、こ
の季節は山へ向かいます。今シ
ズンは仲間よりも早く出掛け
まっさらなゲレンデを目指
したいです。2026年は世界的なス
ポーツイベントが目白押しで
すね、ミラノ・コルティナ五輪
はジャンプ、ビッグエア、そし
てスピードスケートと岩手出
身選手の活躍が期待され本
当に楽しみです。ゲレンデと
言えば周辺のスキー場でもイ
ンバウンドがとて増え、昨
季はZINマレーシア、アイル
ランドの方々とお話す機会

がありました。会話のメは
「I know a really good brewery
in this area」笑。海外と言
えば、豪バース出身のDanelle
とは東京在住の頃に出会い、
今も続く友情に感謝があ
りません。こんな感じでアウ
トバウン的な一方、武道の
世界に足を踏み入れたり日
本人なので着物を自分で・
と習いました。着る機会是最
近減りましたが興味は
尽きません。昨年話題をさ
らった伝統芸能がテーマの映
画を鑑賞し、美しさと俳優さ
ん渾身の役作りにため息が
出ましたが、落語も大切にし
たい文化、お楽しみと思っ
ています。おもむくままにキ
ワードをつなげてみました
が、つなぐと言えは・・・この
へんでペンを置きます。以上
総務部の菅原でした（菅原姓
は4名いますのでご用の際
はフルネームで笑）。

来月はオンバアーでおなじ
み、ミサキさん、プリーズ！

今月の新製品

菅原 奈々 | 総務部

皆さまにぜひ味わっ
ていただきたい、数
量限定の記念ビール
をご紹介します。
その名も「ベアレン
一握のセゾン」です！
本商品は、石川啄木
生誕140周年記念ビール
です。故郷・盛岡で青
春を過ごし、詩や日記に繊細
かつ鋭い情感を綴った石川啄
木。その足跡に敬意を表し、
啄木の日記に記された「ビー
ルとみかん」の組み合わせを
現代に再解釈した特別なセ
ンビールを醸造しました。岩
手県産ホップとみかんを贅沢
に使用し、みかん由来のほろ
苦くも爽やかな味わいで、
すっきりドライな飲み心地！
「一握の砂」ならぬ「一握の
セゾン」。ベアレンが造るフ
ルーツセゾンを、ぜひお試
ください！



編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

正月太りが居座ったま
ま2月。でも岩手の冬は
厚着で全て隠せるから安
心です。ダイエットは春の
自分に丸投げして、今は
暖かい部屋でベアレンを。
蓄えた脂肪は「天然の防
寒着」だと言いつつも、今
夜も楽しく現実逃避しま
しょう。春風が吹く頃に
焦ればいいのです！



各アカウント一覧はこちら↓



岩手で20歳を迎えた皆さんにベアレンビールをプレゼントいたしました。毎年恒例、13年目を迎える本企画、今年は233名の方にお渡しすることが出来ました。新たな門出を心からお祝いたします。



岩井彩音
ピアベースベアレン盛岡駅前

レストラン便り

永野 宏和 | 菜園マイクロブルワリー

ベアレン直営レストランの新人社員、岩井彩音さんをご紹介します。

岩井彩音さんは、現在19歳のフレッシュなピアベースベアレン盛岡駅前店の新人バー。ベアレンuzziナが『地域に根ざしたお店づくり』を大切にしているところに魅力を感じ、ここで働きたいという思いで、中途入社してくれました。地元の人たちと関わりながら成長していきたいという気持ちで、その思いがともなう岩井さんらしいところです。

入社後は主にキッチンを担当していて、わからないことは素直に聞いて吸収していく姿勢がとても印象的。今年20歳を迎える節目の年に新しい環境へ飛び込んだ行動力も頼もしい存在です。是非、ピアベースベアレンにお越しの際はキッチンを覗いてみてくださいね。



これまでにも飲食の仕事を経験していて、状況を見てサッと動けるところが強み。明るい笑顔で話しかけてくれるので、スタッフからも「一緒に働きやすい」と評判です。趣味はカラオケで、好きな曲を歌ってリフレッシュするのが日課。そんな明るさや表現力が、自然と活きています。



笑熊会活動報告

伊藤 一樹 | ピアベースベアレン盛岡駅前

レストラン部では年明け早々に新年会を開催しました。普段の職場では一緒に働くことがあまりないメンバー同士が一堂に会する貴重な機会となりました。昨年に比べ参加人数は減ってしまいましたが、皆で和気あいあいと楽しむことができました。美味しいコース料理を囲みながら昨年を振り返り、今年の目標や伸ばしていきたいところなどについてじっくり話すことができました。

今年もレストラン部として、お客さまに安心して、より良いサービスを提供し、各店舗の連携を強化しながら取り組んでいきたいです。今回の新年会でのつながりと結束力をこれからの業務に生かしていきたいです。



普段は別々のお店で切磋琢磨し、良いライバルでもあり仲間でもあるので、新年会を開催して、改めてチームワークの大切さを実感する場となりました。普段の業務では見られない一面を知ること、お互いの理解が深まり、レストラン部としての結束力がより一層高まったのではないかと思います。



盛岡りんごドライシードル

都鳥 勇介 | 総務部

このたび、盛岡市の「美食王国」もりおかイノベーション事業補助金」を活用しまして、盛岡りんご100%の新商品『OUIEON盛岡りんごドライシードル』を造りました。

盛岡市は、本州初盛岡りんご栽培地であり、世界で最も多く生産されているりんご品種「ふじ」の原木が今なお残る、りんごの歴史が息づく街です。

そんな盛岡りんごを100%使用して造ったのが本商品。ベアレンが10年以上にわたり培ってきた果実酒製造のノウハウを注ぎ込み、香料・保存料無添加、フレッシュで果実味溢れる1本に仕上げました。地元農家さんから届いたりんごをひとつひとつ丁寧に絞



この地特有の厳しい寒気の中で樹上完熟させ、濃厚な蜜と芳醇な香りを備えた高品質の盛岡りんごは、確かな品質を伝える地場産品として「盛岡ブランド品」の認定を受けています。

1本につき2個分の果汁を使用。グラスに注ぐと広がる盛岡りんごの爽やかな香りと、自然でドライな味わいが食卓を彩ります。

ベアレンでは、地元農家さんと連携しながら、地域の誇る素材を活かした商品づくりに取り組んでいます。生産者の想いや、その土地ならではの風土を、商品を通じて伝えていくことも、私たちの大切な役割だと考えています。本商品を通じて、盛岡りんごの魅力、そして盛岡という土地の豊かさを感じていただけたら幸いです。ベアレンはこれからも、地域とともに、県産素材の価値を伝える商品づくりに取り組んでいきます。



記事募集中！どんな小さなエピソードでも大歓迎です！QRコードから「お名前」「メールアドレス」「電話番号」「投稿記事（300文字程度）」をご入力ください。皆さんとベアレンの思い出をぜひ教えてください。

↑応募はこちら



わたしとベアレン

投稿者 | 高橋奈緒子さま

コロナ禍で飲み会が出来ないのがSNSを通じてのオンライン飲み会。ベアレンを片手にSNS仲間との楽しい時間。他県の仲間から「このビール何？」の問いかけに「岩手のベアレンビールだよ」と話を弾ませ「今度送るよ」と約束。後日ベアレンビールが届いた仲間から「最高だね！このビール」と嬉しいお知らせ。岩手のビールを褒めて貰ってとても嬉しかったエピソードです。